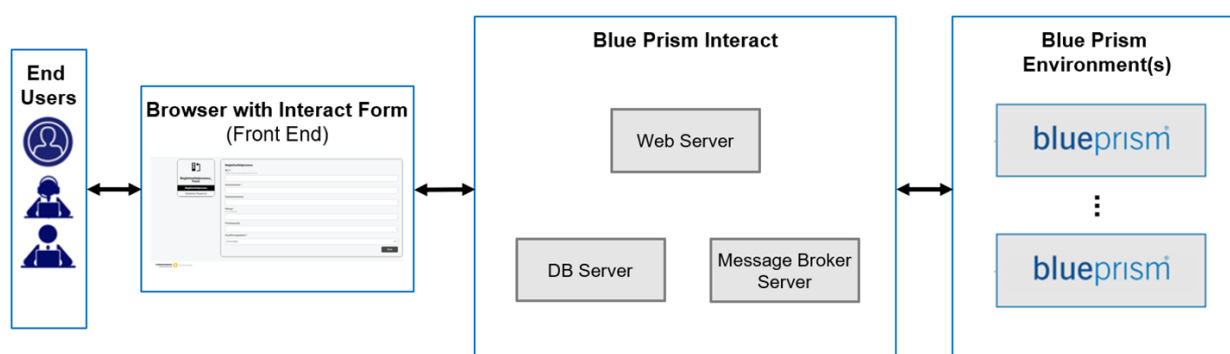


## Interact 4.1インフラストラクチャの概要

このデータシートでは、Blue Prism Interactの環境の仕様と構成に関する技術的なガイダンスを提供します。これは、サイズ設定と構成を示すガイドを意図したものです。ただし、各環境はBlue Prism®実装のプロファイルによって異なります。

### Interactについて

Blue Prism Interactは、ユーザーとDigital Workersの橋渡し役となるWebインターフェイスで、コラボレーションと連携の両方を可能にします。カスタマイズ可能なInteract Webインターフェイスは、任意のコンピューターまたはモバイルデバイスのブラウザからアクセスでき、組織はフロントオフィスからバックオフィスまで自動化のための参照可能な使用事例を展開できます。



### 詳細情報とリソース

Interactの詳細については、次のオンラインヘルプを参照してください。

- [インストールの前提条件](#)
- [ネットワークポート](#)
- [ソフトウェア要件とSQL許可](#)
- [Interactインストールガイド](#)
- [Interactユーザーガイド](#)

## 最小要件

### ランタイムリソース

インストールしたBlue Prismのバージョンのインストールガイドに記載されている最小要件を参照してください。詳細については、Blue Prismのヘルプを参照してください。

### データベースサーバー

- インテルQuad Xeonプロセッサ
- 8GB RAM
- SQL Server 2016、2017または2019
- 該当のオペレーティングシステムのサポートについては、以下を参照してください。
  - SQL Server 2016または2017:  
<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/sql-server/install/hardware-and-software-requirements-for-installing-sql-server?view=sql-server-ver15>
  - SQL Server 2019:  
<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/sql-server/install/hardware-and-software-requirements-for-installing-sql-server-ver15?view=sql-server-ver15>

### メッセージブローカーサーバー

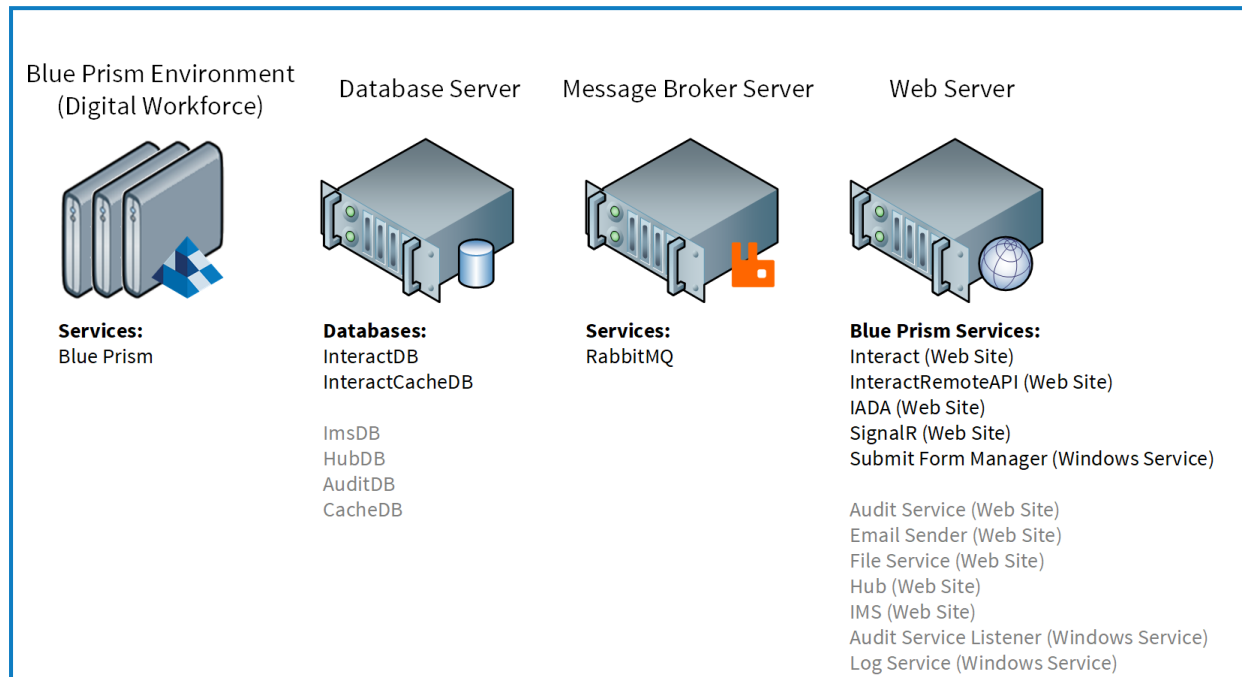
- インテルデュアルXeonプロセッサ
- 8GB RAM
- RabbitMQ Messaging Broker 3.8.0 ~ 3.8.8
- 該当のErlang/OTPのサポートについては、<https://www.rabbitmq.com/which-erlang.html>を参照してください。
- 該当のオペレーティングシステムのサポートについては、<https://www.rabbitmq.com/platforms.html>を参照してください。


### Webサーバー

- インテルデュアルXeonプロセッサ
- 8GB RAM
- Windows Server2016または2019
- .NET Framework 4.7.2
- IIS 10.0または11.0
- [インストールガイド](#)に説明されている前提条件

## 実装プロフィール

次の図に、Blue Prism Interactの実装で使用されるコンポーネントを示します。



 灰色のテキストの項目は、Blue Prism Hubのインストールプロセスの一部としてインストールされます。

Blue Prism Interactの実装は、任意の数のランタイムリソース、Webサーバー、メッセージブローカーサーバーにデータベースサーバーを組み合わせて構成されます。

コンポーネントは、次の機能を実行します。

- **Blue Prism環境** - 対象アプリケーションに対して自動プロセスを実行するBlue Prismランタイムリソースをホストする標準のBlue Prism環境。多くの場合、ロボットと呼ばれます。
- **SQL Serverデータベース** - Interactフォームを保持する集中リポジトリ。
- **メッセージブローカーサーバー** - RabbitMQメッセージブローカーソフトウェアを搭載した物理マシンまたは仮想マシンで、アプリケーション、システム、サービス間の通信や情報交換を可能にします。
- **Webサーバー** - Blue Prismコンポーネント、IMS、HubにIIS機能を提供する物理マシンまたは仮想マシン。

ほとんどのコンポーネントは、実稼働の耐久力をもつ仮想インフラストラクチャに導入されるのが一般的です。パイロットプロジェクトまたは概念実証プロジェクトでは、アプリケーションがサーバーオペレーティングシステムでのみサポートされているため、サーバーインフラストラクチャが必要です。

## Webサーバーコンポーネント

### 送信フォームマネージャー

このコンポーネントは、Interactとフォームの送信先との間の「仲介者」として動作するために使用されます。たとえば、ワークキューに送信する前にフォームの送信に承認が必要な場合、送信フォームマネージャーは、Interactの承認者の「承認」フォルダーにその送信を保存します。また別の例として、送信がワークキューに直接移動するように設定されている場合は、送信フォームマネージャーがIADAに送信を渡します。

### IADA

このコンポーネントは、XML形式でワークキューに送信を配置します。

### Interact Remote API

このコンポーネントにより、Digital WorkerはInteract APIと連携できます(すなわち、「フォームの送信を作成」)。

### Email Sender

このコンポーネントは、ユーザーにメールを送信する必要がある場合に使用されます。HubのSMTP設定は、このコンポーネントをセットアップするために使用されます。

### Audit Service

このコンポーネントは、監査データベースから監査情報を取得し、Hubの「監査」ページ内に情報を表示するために使用されます。

### 監査サービスリスナー

このコンポーネントは、すべての監査イベントトリガーを「傾聴」するために使用され、この情報は監査データベースに渡されます。

### SignalR

このコンポーネントは、Interactフォーム内の要素をリアルタイムで表示するために使用されます。

### ログ収集サービス

このWindowsサービスは、各 Webサーバーコンポーネント ( Hub、Interact、IMS、Audit Service、監査サービスリスナー、Email Sender、ログ収集サービス、IADA、Interact Remote API、SignalR、送信フォームマネージャー) から古い製品ログを削除します。このサービスは毎月7日に実行されるスケジュールとなっており、ログは C:\Program Files (x86)\Blue Prism\ArchivedLogsに移動されます。


appsettings.json内でアーカイブされたログフォルダーのパスとスケジューラーの日付を変更できます。アーカイブフォルダーのパスは「ArchivedFolder」で変更でき、「DayOfMonth」ではスケジューラーの日付を変更できます。

### 分散キャッシュデータベース

このデータベースは、キャッシュメカニズムとして使用され、ユーザーセッションの詳細、ライセンスの詳細、廃止されたユーザーデータの保存に使用されます。分散キャッシュデータベースは分散SQL Serverキャッシュを使用して設計できます。

## HubとInteractでのRabbitMQの使用

次の表は、Blue Prism HubとInteractでRabbitMQが使用される場所を示しています。

 このトピックで参照するキューは、Blue Prismワークキューではなく、RabbitMQキューに関連しています。

コンポーネント	キュー												
	監査		メール		環境変更		IADA		送信キュー		受信トレイ		
	S	L	S	L	S	L	S	L	S	L	S	L	
Hub	✓		✓		✓								
Interact									✓				
IMS	✓		✓										
Windows Audit キューリスナー		✓											
Windows IADA			✓			✓		✓					
Windows送信 フォームマネージャー	✓		✓				✓			✓			
Windows SignalR													✓
Windows Interact Remote API									✓		✓		
Windows Email Sender				✓									

### 表の説明

#### キュー

- S = 送信 – キューにオブジェクトをポストします。
- L = Listen – キューからオブジェクトを取得します。

#### Auditキュー

HubとInteractはこのキューにオブジェクトをポストします。

Auditイベントリスナーは、HubとInteractからオブジェクトを取得し、監査イベントをAuditデータベースに保存します。

#### メールキュー

Hub、Interact、送信フォームマネージャーは、オブジェクトをこのキューにポストします。

Email Senderは、このキューからオブジェクトを取得し、関連するユーザーにメールを送信できるようにします。

#### 環境変更キュー

Hubはこのキューにオブジェクトをポストします。

IADAはこのキューからオブジェクトを取得し、それによってフォームの送信を開始するRPAデータベースを正確に把握します。

### IADAキュー

送信フォームマネージャーは、オブジェクトをこのキューにポストします。

IADAはこのキューからオブジェクトを取得し、それによって送信データをワークキューに配置できます。

### 送信キューキュー

InteractとInteract Remote APIはこのキューにオブジェクトをポストします。

送信フォームマネージャーはこのキューからオブジェクトを取得し、それによって送信を配置する場所を決定できます。

### 受信トレイキュー

Interact Remote APIはこのキューにオブジェクトをポストします。

SignalRはこのキューからオブジェクトを取得し、それによってどのフォーム要素をリアルタイムで入力するかを把握します。

## ネットワークアーキテクチャ

次の図は、一般的なBlue Prism HubとInteractネットワークアーキテクチャの概要を示しています。

